

JAPAN INSTITUTE FOR LIBERTARIANISM ACTIVITY REPORT 2024-2025

2023年1月に自由主義研究所を立ち上げてから、約2年になります。2024年は新メンバーとしてマット・ノイズが加入し、活動のバリエーションが増えました。2025年は自由主義研究所として書籍を3冊も出版できました。2026年は、日本にリバタリアニズム・オーストリア学派経済学を広めるために、さらに幅広く活動していきたいと思っています。



公式サイト
www.jiyuu.jp



@jufujimaru
藤丸@自由主義研究所



@ClassicalLiberalJapan
自由主義研究所チャンネル



noye
自由主義研究所



メール送信します



JAPAN
INSTITUTE FOR
LIBERTARIANISM
www.jiyuu.jp

自由主義研究所

New Member! 2024年にマット・ノイズが、 Matthew Noyes 自由主義研究所に研究員として参加しました。



▶ Matthew Noyes (マット・ノイズ) プロフィール

日本在住のアメリカ人。アメリカで「最も自由な州」と言われるニューハンプシャー州出身。12歳からアメリカの政治・選挙活動を開始、13歳からティーパーティー運動に参加。在学中に自由経済と保守系の学生団体Turning Point USAの支部を設立し、保守系メディアコラムニストとしても活躍。ベン・カーソンの共和党大統領予備選挙、議会議員選挙など各種選挙支援も経験。

また、ドナルド・トランプ（現大統領）、ビル・ハガティ上院議員（元在日米国大使）、Kash Patel（現FIB長官）など、多くの海外要人の会議やインタビューの通訳の経験あり。

※現在、自由主義研究所は、蔵研也、マット・ノイズ、藤丸哲郎、藤丸順子の4人で活動しています。

書籍の出版

2024年に準備を進め、2025年に3冊も書籍を出版することができました。すべて海外の書籍の翻訳で、訳者はいずれも蔵研也です。自由主義を学ぶには、やはり良書を読むことで理解を深めることが非常に重要です。日本には、自由主義・リバタリアニズム・オーストリア学派に興味を持った人が読めるような本が非常に少なく、さらに絶版になってしまっている本も多い状況です。そこで、敢えてAmazonのペーパーバックと電子書籍として出版することで、絶版のリスクなく、多くの人に読んでいただけるような出版形式にしました。2026年以降も、本の出版には力を入れていこうと思います！

『ミレイと自由主義革命 世界を変える アルゼンチン大統領』 2025年2月出版

自由主義研究所の初めての本です！リバタリアンのマルセロ・ドゥクロスと、保守派ニコラス・マルセロの共著“Milei: La revolución que no vieron venir”の日本語翻訳本。著者は2人ともアルゼンチン人で、ハビエル・ミレイ大統領の友人でもあります。リバタリアンのミレイ大統領を生んだアルゼンチンの政治運動や思想を紹介することで、ミレイ大統領についての知見を広げるとともに、日本の改革に活かしたいと考え、翻訳出版しました。

『経済の考え方がわかる本 自由主義 経済学のはじめの一步』 2025年7月出版

オーストリア学派の経済学者でミーゼス研究所のシニアフェローでもあるパー・バイランド氏の本“How to Think about the Economy:Primer”の翻訳本です。本書は、日本語以外にも9カ国語に翻訳されています。題名どおり自由主義経済学の入門書であり、学生の方にもぜひ読んでほしい1冊です。オーストリア学派の核心を、驚くほど明快地学べます！

『ミレイ現象 リバタリアニズムの覚醒』 2025年10月出版

オーストリア学派の経済学者でファン・カルロス王大学教授フィリップ・バグス氏の“La Era Milei”の翻訳本です。バグス氏はドイツ・ミーゼス研究所の科学諮問委員会メンバーでもあります。本書は、日本語以外に8カ国語に翻訳され、他の言語にも翻訳が進行中です。アルゼンチンだけでなく、世界中で進行中の「文化の戦い」とは何か。自由主義者や保守派の敵である「左派」についても、歴史から解説しています。ドイツ人の著者によるナチスの評価は非常に説得力があり、左派による文化の乗っ取りに抵抗する「普通の人たち」にとっても重要な本です。

「ミレイと自由主義革命」翻訳出版のため、10月にクラウドファンディングに初挑戦。初日で目標達成・最終的に166名の方にご支援いただきネクストゴールも達成。自由主義に興味を持ってくださっているかたの多さと熱意に驚きました。本当にありがとうございました。

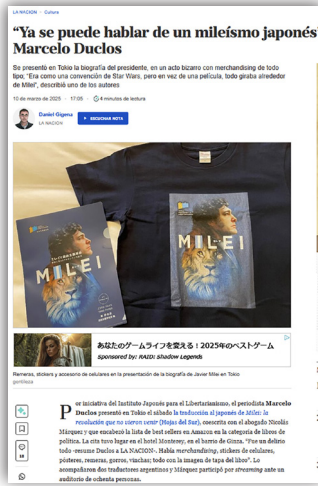


自由主義者ミレイ大統領の物語
初めての日本語翻訳!



出版記念イベント開催 (東京 銀座)

自由主義研究所の初めての本『ミレイと自由主義革命世界を変えるアルゼンチン大統領』の出版記念イベントを2025年3月に東京で開催。イベントにはアルゼンチンから著者マルセロ・ドウクロス氏が来日し、講演会では参加者の皆様から多くの質問が寄せられました。この出版記念イベントの様子は、アルゼンチン大手新聞『La Nacion』などに記事が掲載されました。また、ミレイ大統領もイベントの写真をXで何回もリツイートしてくれました。



政治家への献本



2025年12月、自民党と連立与党の「日本維新の会」の共同代表・藤田文武議員と、新しく「日本自由党」を立ちあげた浜田聡前参議院議員に、『ミレイと自由主義革命』『ミレイ現象』を献本しました。この件は、ミレイ大統領もXでポストしてくださり、アルゼンチンの通信社「NA NOTICIAS ARGENTINAS」に記事として掲載されました(写真右)。

Milei envió copias de sus libros a representantes del Partido de la Restauración de Japón

Mientras anticipan un “fuerte descenso” de la inflación el mes próximo, el Presidente reafirma el avance del liberalismo en Argentina.

DOMINGO 7 DE DICIEMBRE DE 2025 17:10

EDITADO A LAS 17:24

📷 📱 📧



Referentes del Partido de la Restauración de Japón recibieron libros de Javier Milei. Foto: Agencia NA (Redes). Foto: Agencia NA / RRS

Buenos Aires, 7 diciembre (NA) – Según supo la Agencia Noticias Argentinas, el presidente de la Nación, Javier Milei, les envió copias de dos de sus libros a representantes del Partido de la Restauración de Japón. Mientras anticipan un “fuerte descenso” de la inflación durante el mes



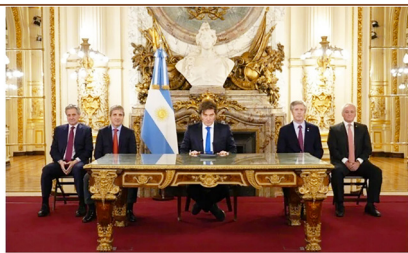
自由主義研究所チャンネル @ClassicalLiberalJapan



アメリカ大統領選挙(2024)分析

マットによる 2024年アメリカ大統領選挙 解説シリーズ。
アメリカ人のマットによる冷静な分析は大好評でした。世界が注目を続けるアルゼンチンのリバタリアン！
ハビエル・ミレイ大統領 自由主義的な改革で世界中から
注目されるミレイ大統領の演説に、日本語字幕をつけました。

オンライン勉強会

「“ケインズ vs ハイエク”から経済学を学ぶ
～4つの経済思想とは?」オンライン勉強会
講師 = 蔵研也(2024年9月)有名な「ケインズvsハイエク」のラップ動画の解説により、
楽しく経済学を学ぶことを目的に実施しました。「ミレイ大統領の演説から、自由主義を知る!」
オンライン解説会 (2025年8月)講師 = 蔵研也、ダビ(『ミレイと自由主義革命』の監修者)
noteにも翻訳を全文紹介した「財政赤字ゼロの維持と政府の
金融政策に関する措置」の大統領声明文の内容から、自由主義を
学ぶ解説会です。ハビエル・ミレイの大統領声明「財政赤
字ゼロの維持と政府の金融政策に関する
措置」(全文日本語翻訳)

♥ 87

自由主義研究所
2025年8月10日 19:53『ミレイ現象』オンライン解説会(全3回)
(2025年11月・12月) 講師 = 蔵研也10月に出版した本『ミレイ現象:リバタリアニズムの覚醒』の
第5～7章の勉強会を開催し、合計100名ほどにご参加いただけました。
テーマは「パレオ・リバタリアニズム」「文化の戦い」
「オーストリア学派」と非常に重要な内容でした。
とても好評だったため、来年以降も勉強会をさまざま
な形で行っていききたいと思います。

オンライン読書会

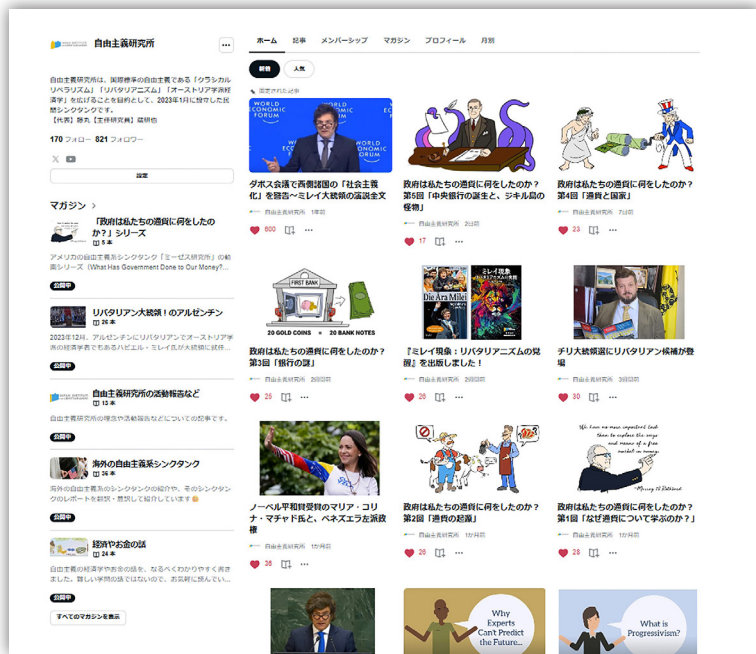
「経済をどう考えるか」

(2025年に編集し、「経済の考え方がわかる本」として出版)
(2024年10月に読了)※読書会は、2020年に立ち上げた
「自由主義を学ぶ会」から継続していましたが、諸事情により
2024年10月で休止しています。自由主義を学ぶ読書会は、
別の運営組織にも活動が広がっているようで、自由主義の
広がりを実感します。左(日本語版) パー・バイランド著・蔵研也訳・自由主義研究所編「経済の考え方がわかる本」
右(オリジナル版) PER L. BYLUND "HOW TO THINK ABOUT THE ECONOMY A PRIMER"

note



2024年は年間で45本、 2025年には44本の記事を投稿しました



自由主義を多くの人に知ってもらいたいという思いで、様々なテーマで記事を書いています。2025年からは、リバタリアンの韓国人の友人からの寄稿記事も掲載しています。noteでもミーゼス研究所の『初心者のための経済学』『政府は私たちの通貨に何をしたのか?』シリーズを解説しました。



ミレイ大統領入門～日本人よ、これが自由だ! (ゲスト・藤丸順子 自由主義研究所共...)
6555 回視聴・8 か月前



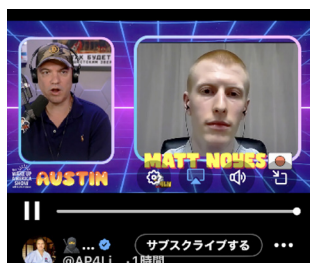
日本が繁栄する方法〈第11回: 日本は社会主義を斬る! 自由主義パンサイ!〉#減税...
2



税金は政府による略奪だ! 【第2部】〈減税TV 番外編: マット・ノイズと語る! 自由...〉
3



【メディア圧力】カーク氏銃撃で対立激化/政権側は“青狩り”も/保守vsリベラルは対...
11万 回視聴・1 か月前



その他の登壇・参加イベント 2024

- 6月 「第4回減税と規制廃止を実現させる講演会」(大阪)に蔵が登壇
- 9月 「自由経済研究会2024」に蔵・藤丸(オンライン)が参加
- 11月 「減税&規制廃止カンファレンス」に蔵が登壇。マット、藤丸が参加
- 12月 「TAX WORKSHOP in Takarazuka (税を学ぶ会) (兵庫減税会)に藤丸が参加

2025

- 3月 「SAKISIRU〜サキシル〜」(新田哲史さんのyoutube)に藤丸が出演 ...①
- 5月 youtubeチャンネル「減税TV」にマットが出演開始 ...②、③
- 6月 「第5回減税と規制廃止を実現させる講演会」(大阪)に藤丸が参加
- 7月 日本経済新聞の取材(オンライン) (藤丸)
- 8月 「第二回減税&規制廃止カンファレンス」にマットが登壇。ブース出店 ...④
- 8月 「自由主義の実践」(youtubeチャンネル)に藤丸が出演
- 9月 「自由経済研究会2025」に蔵と藤丸(オンライン)が参加
- 9月 ABEMA Prime「【メディア圧力】カーク氏銃撃で対立激化/政権側は“青狩り”も/保守vsリベラルは対話不能?」にマットが出演 ...⑤
- 10月 Austin Petersenの番組「Wake Up America Show」にマットが出演 ...⑥
- 11月 「関西減税サミット」蔵・藤丸参加、ブース出店
- 12月 「CPAC JAPAN 2025」蔵、マット登壇

その他、複数の海外の自由主義団体・安全保障系の団体との面談を行っています

自由主義研究所 マンスリーサポーターさま 募集中です

数年前のコロナ禍にみられたように、
有事には政府によって「個人の自由」が簡単に侵害されます。
そして個人もその影響を受け、全体主義化する傾向があります。
今後も災害や疫病、戦争などで、「自由」は簡単に失われるかもしれません。

そのため、普段から「自由」の重要性を広げ、全体主義の危険性を訴えていくことが重要です。
そして、このような活動を広く行い普及していくためには、多くの資金が必要となります。

活動の成功のためには
「哲学者」・「解説者」・「慈善家」・「政治家」・「活動家」
といった役割が必要です。

自由主義研究所は日本に自由主義（リバタリアニズム・オーストリア学派経済学・古典的自由主）を
広めるために設立した完全に民間のシンクタンクです。

自由主義研究所の理念には、少しずつ賛同してくださる仲間が増えています。
しかし、自由主義研究所の活動を金銭的な面で支えてくださる「慈善家」はまだまだ少ない状況です。

今後もさらに活動を大きく発展させるため、
自由主義研究所の理念と活動方針に賛同してくださる方がいらっしゃいましたら、
マンスリーサポーター（継続寄付）としてのご支援をぜひお願い致します。

自由主義研究所の**マンスリーサポーターさま**のお申し込みは、
下記の「**READYFOR（レディーフォー）**」の**サイト**にてお願いいたします。
<https://readyfor.jp/projects/jiyuu>

スポットでの寄付（毎月ではなく1回の寄付）は、以下の口座へのお振込みでお願いいたします。

住信SBIネット銀行
法人第一支店
普通 1929653
口座名 カ) ゴウドウガイシャクラシカルリベラル

ご寄付いただいた方は、以下までメールにてご連絡いただけると嬉しいです。
どうぞよろしくお願いいたします。
classicalliberalj@gmail.com (藤丸)

また、自由主義研究所のメンバーは現在4名ですが、それ以外にも、
書籍の表紙デザインをしてくださるデザイナーさま、YouTube動画の編集をしてくださるかた、
イベントで会場スタッフを手伝ってくださるかた、note記事へ寄稿してくださるかたなど、
様々な方たちがご協力してくださっています。

マンスリーサポーターとしてのご支援以外にも、
活動を手助けしてくださる方々も募集しています。(メールclassicalliberalj@gmail.comにてお問い合わせください)。



自由主義研究所へ
メール送信する



READYFOR
自由主義研究所
[マンスリーサポーター]



自由主義研究所